

令和4年度シラバス (英語)

学番中等3 新潟県立燕中等教育学校

教科(科目)	英語 (異文化理解)	単位数	3単位	学年(コース)	6学年
使用教科書	PROMINENCE English Communication III (東京書籍)				
副教材等	PROMINENCE English Communication III WORKBOOK Standard (東京書籍)				

1 学習目標

- 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。
- 英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解し、適切に伝えたり発表したりする能力を伸ばす。

2 指導の重点

- 一年間で、次の技能習得を目指します。
- 基本語3000語を適切な技能において使用できる。
 - 見て意味が分かる語が約6000語ある。
 - 語彙400語までで1万語読む。
 - 150WPMで読める。

3 学習計画

学期	月	学習内容 (教科書の構成)	学習のねらい	時間	評価の観点のポイント			
					コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
1	4	Lesson 1 Ito Jakuchu —The Rediscovered Artist	[題材内容] 明治以降、一般から忘れ去られていた江戸の絵師、伊藤若冲。第2次世界大戦後、若冲の存在を世に知らしめたのは、何とアメリカ人コレクターだった。若冲の絵の特徴や独特の技巧について読み解き、日本の美術について考える。 [言語活動] 他の人に鑑賞してもらいたいものについて書き、グループ内で意見交換する。	6	200年の時を超越して蘇った伝統絵画の評価とその技巧に関心を持ち、作品を鑑賞・考察した結果を周囲と積極的に英語で意見交換している。	・若冲が現代に及ぼした影響とその高度な技巧について英語で書き、説明することができる。 ・他の人に鑑賞してもらいたいものについて英語で書き、意見を言うことができる。	やや専門的な絵画の技法や若冲の言動などについて、聞いたり読んだりした内容に関する質問に英語で答えることができる。	日本の伝統絵画を多面的に評価する視点を持ち、特に現代の科学技術との関連性についての的確に理解している。
	4	Lesson 2 Leaving Microsoft to Change the World	[題材内容] 世界的な大企業の青年重役が、会社を辞めて世界中の子供たちに教育の機会を与えるNPOを創設する。彼の人生における新たな進路の選択について考える。 [言語活動] ウッド氏の人生の進路の選択について説明したり、グループ内で意見を述べたりする。	6	・人の生き方・人生の進路の選択に関心を持ち、自分の進路について考えながら、題材を鑑賞する。 ・ウッド氏の人生の選択について、グループ内で積極的に英語で意見交換する。	・絵とキーワードを使って、ウッド氏の人生の進路変更の様子について口頭で説明し、自分の意見を述べることができる。 ・仮定の状況について、自分の意見を英語で書き、グループ内でそれを発表して他のメンバーと意見を交わすことができる。	ウッド氏の人生の進路の選択について読んだり聞いたことを理解し、内容に関する質問に答えたり、絵とキーワードを使って要約することができる。	・人生の進路の選択について柔軟に考えている。 ・自分や身近な人と比較して、その共通点や相違点を的確に理解している。

	5 Lesson 3 A One-Million-Dollar Lottery Ticket	<p>[題材内容] 100万ドルの当たり宝くじ券を巡って、アメリカで三つ巴の裁判訴訟が起こった。所有権を主張する3人の訴えを読み、その所有権は誰にあるのかを考える。</p> <p>[言語活動] 当たり宝くじ券を巡る三つ巴の訴訟に関して、その所有権者を決定し、意見を書く。キーワードや絵を使って口頭で説明する。</p>	6	<p>訴訟を審理する裁判と裁判制度に関心をもち、自分が参加するときのことを想像しながら、訴訟の内容と当事者たちの主張について理解し考えようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キーワードや絵を使って、当たり宝くじ券の訴訟の内容を順を追って再話 (retelling) することができる。 ・ 誰が当たり宝くじ券の所有者なのかについて意見を書き、グループ内で意見を述べることができる。 	<p>当たり宝くじ券を巡る訴訟の内容について、読んだり聞いたりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ アメリカが訴訟社会と呼ばれる理由をタイトルページグラフや本文の内容から理解している。 ・ 日本の裁判員制度のあらましを理解している。
	5 Lesson 4 Recycling Hotel Soap to Save Lives	<p>[題材内容] ウガンダからの難民デレク・カヨンゴ氏が、アメリカのホテルで廃棄される石鹸を再利用して、発展途上国の衛生環境の改善に貢献する活動を始める。カヨンゴ氏の活動を通して、世界の衛生状態の格差や乳幼児の死亡率などについて考える。</p> <p>[言語活動] 貧しい地域に住む人々がどのような問題を抱えており、彼らのために自分は何ができるかについて説明したり、グループ内で意見を述べたりする。</p>	6	<p>公衆衛生面における世界の地域間格差の現状に関心をもち、資源の再利用や地域間格差の問題について、自分ができることは何かを考えようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キーワードや絵を使って、カヨンゴ氏の経験と活動内容を順を追って再話 (retelling) することができる。 ・ 貧しい地域の人々にはどのような問題があり、彼らを援助するために何ができるかについて書き、グループ内で意見を述べることができる。 	<p>公衆衛生面における世界の地域間格差の現状について、読んだり聞いたりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ カヨンゴ氏がグローバル・ソープ・プロジェクトを設立した背景や活動内容について理解している。 ・ 地域間格差が発生する原因や、それが地域住民に及ぼす影響について理解している。
	6 Lesson 5 Question Authority!	<p>[題材内容] 日本人とアメリカ人とは大きく異なる、「権威」に対したときの考え方や態度について学び、その違いがどのような行動になって表れるかについて考える。</p> <p>[言語活動] 「校則や学校の伝統について異議を唱えたいですか。」というトピックについて、意見を書いたりグループ内で話し合ったり結論を出したりする。</p>	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ アメリカの子供たちが「権威を疑う」理由について積極的に考えようとしている。 ・ 「権威」に対する日本人の態度や対応ぶりとその理由について積極的に考えようとしている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「校則や学校の伝統について異議を唱えたいですか。」というトピックについて英語で答えて、50語ほどの意見を書くことができる。 ・ グループ内で、上のトピックについて話し合い、グループとしての結論を出すことができる。 	<p>「権威を疑う」というアメリカの子供たちの習慣について、読んだり聞いたりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大小の権威に対する考え方について、日本人と英米人との違いを理解している。 ・ 権威に対する対応ぶりは変化する場合もあることを理解している。
	6 Lesson 6 The True Cost of Fast Fashion	<p>[題材内容] ファーストファッションの衣料品は、流行を取り入れているのに安価なので、消費者は何も考えずに買い求めてしまう。その生産に伴う、いくつかの深刻な問題について考える。</p> <p>[言語活動] 「ファーストファッ</p>	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファーストファッションの生産国における人権侵害と環境問題について関心をもち、その ・ 質問に答えながら考えたことをまとめ、論理性に注意しながらプレゼンテーションのアウトラインを書くことができる。 ・ クラスでプレ 	<p>ファーストファッションの生産国における人権侵害と環境問題について、読んだり聞いたりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答えることが</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファーストファッションの生産国における労働環境と賃金、環境問題について理解してい

			<p>ョンの問題を解決するために何をするか。」というトピックでプレゼンテーションを行う。</p>	<p>現実的な解決策について積極的に考えようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ファーストファッションの問題を解決するために何をするか。」というトピックで積極的にプレゼンテーションを行おうとしている。 	<p>ゼンテーションを行うことができる。</p>	<p>できる。</p>	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プレゼンテーションの構成や効果的に使える表現について理解している。
--	--	--	--	--	--------------------------	-------------	---

1	7	Lesson 7 What Is College For?	<p>[題材内容] 学校教育の総仕上げとも言える大学教育が、アメリカではこの数十年の間に、より多くの収入が期待できる職業を得るための資格となってしまった。大学は何のためにあるのかという問いを、現在の社会情勢と照らし合わせつつ、広い視野をもって考える。</p> <p>[言語活動] 「大学では一般教養科目を教えるべきではない」という論題で、ミニディベートを行う。</p>	6	<p>大学の存在意義について関心を持ち、大学教育の望ましい姿について考えようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「大学では一般教養科目を教えるべきではない」という論題に関する質問に英語で答えたり、50語ほどの意見を書いたりすることができる。 上の論題で、ミニディベートを行うことができる。 	<p>アメリカの大学教育について、聞いたり読んだりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> アメリカ合衆国の大学教育の長所と短所について理解している。 日米の大学教育の類似点や相違点について理解している。
1	7	Lesson 8 Attitudes toward Time	<p>[題材内容] 世界の各地域における時間に対する考え方や対応の仕方の相違は、どこから生まれるのだろうか。世界中の事例とさまざまな仮説を読み解きながら、時間に対する人々の姿勢について考える。</p> <p>[言語活動] 「日本人はなぜ時間を強く意識するのか」というトピックについて、意見を書いたりグループ内で話し合ったりして結論を出したりする。</p>	7	<ul style="list-style-type: none"> 世界中の文化圏及び各国の人々の、時間に対する姿勢の相違について関心を持ち、それらを理解しようとしている。 時間に対する姿勢の相違についての仮説を理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「日本人はなぜ時間を強く意識するのか」というトピックについて英語で答えて、50語ほどの意見を書くことができる。 グループ内で、上のトピックについて話し合い、グループとしての結論を出すことができる。 	<p>世界中の文化圏及び各国の人々の、時間に対する姿勢の相違について、聞いたり読んだりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答えることができる。</p>	<p>異なる文化圏における人々の時間に対する姿勢について、日本人との相違を知ることによって、その人々とよりよい関係を築くのに役立つことを理解している。</p>

2	9	Lesson 9 Science of Love	<p>[題材内容] 人間にとって普遍的なものと考えられる恋愛感情だが、世界中のいろいろな分野の研究者が分析したところ、脳と身体に働きかけるいくつかのホルモンと関係があることが分かった。人間と恋愛感情について考える。</p> <p>[言語活動] 「理想の恋人はどんな人か。」というトピックについて、意見を書いたりグループ内で話し合っって結論を出したりする。</p>	7	<p>恋愛感情を論理的分析的に考察することに関心を持ち、自分自身の経験も振り返りながら、恋愛感情について考えようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「理想の恋人はどんな人か。」というトピックについて英語で答えて、50語ほどの意見を書くことができる。 グループ内で、上のトピックについて話し合い、グループとしての結論を出すことができる。 	<p>世界中の恋愛感情の研究内容について、聞いたり読んだりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1つのテーマに対して多角的な考察が必要なことを理解している。 人間の感情でさえ脳の働きと捉え、それを科学的に研究する方法があることを理解している。
2	9	Lesson 10 Human BUYology	<p>[題材内容] 現在最新のマーケティングは、直接的間接的に人の五感に訴える手法を用いるまでに進歩している。このマーケティング戦略を通して、企業活動について考える。</p> <p>[言語活動] 「店舗のマーケティング戦略」というトピックでプレゼンテーションを行う。</p>	7	<ul style="list-style-type: none"> 最新のマーケティング戦略を通して企業活動に関心を持ち、その現状について積極的に理解しようとしている。 「店舗のマーケティング戦略」というトピックでプレゼンテーションに取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「店舗のマーケティング戦略」というトピックについて質問に答えてから、論理性に注意しながらプレゼンテーションのアウトラインを書くことができる。 クラスでプレゼンテーションを行うことができる。 	<p>企業活動の現状について、読んだり聞いたりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 現代の企業活動にどのような問題が潜んでいるかを的確に理解している。 「賢明な消費者」になるためには、どのようなことに気をつければいいのかを理解している。
2	10	Lesson 11 The Robots Are Coming—Aren't They?	<p>[題材内容] 「人か人以上の能力がある人型のロボットを作ることは、可能だろうか。」という問いについて、技術面と経済面の両面から考える。</p> <p>[言語活動] 「人型ロボットを作る必要はない。」という論題で、ミニディベートを行う。</p>	7	<p>人型ロボットの可能性やコンピューターの現在の状態に関心を持ち、それらの問題点や将来の予想について理解しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「人型ロボットを作る必要はない。」という論題に関する質問に英語で答えたり、50語ほどの意見を書いたりすること 	<p>人型ロボットの可能性やコンピューターの現在の状態や将来について、読んだり聞いたりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 科学的な課題を論証するときの典型的な論理展開を理解している。 多様なロボットを含むコンピューター機器の現状について正しい知識を持ち、理解している。

						<p>ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 上の論題で、ミニディベートを行うことができる。 		
2	10	Lesson 12 The Thing with Feathers	<p>[題材内容] 冬と春の間に食べる餌を5,000か所もの場所に蓄えておくハイイロホシガラスは、その場所をどのように探り当てるのだろうか。真相を突き止めるために、アメリカの大学院生が行った実験の詳細を読み解く。</p> <p>[言語活動] 餌を蓄える習性のある動物について調べてまとめ、プレゼンテーションを行う。</p>	7	<ul style="list-style-type: none"> ハイイロホシガラスの記憶力に関心を持ち、実験の手順とそれぞれの意味と結論について理解しようとしている。 ハイイロホシガラス以外の餌を蓄える習性がある動物について調べ、プレゼンテーションに取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 質問に答えながら調べたことをまとめ、論理性に注意しながらプレゼンテーションのアウトラインを書くことができる。 クラスでプレゼンテーションを行うことができる。 	ハイイロホシガラスの記憶力の実験について、読んだり聞いたりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ハイイロホシガラスの記憶力の実験の内容について、その論理性や結論を理解している。 プレゼンテーションの構成や効果的に使える表現について理解している。
2	11	Lesson 13 Technology as Trash	<p>[題材内容] 増加の一途をたどるパーソナルコンピューターやスマートホンなどの電気電子機器の廃棄物が、発展途上国で引き起こしている深刻な環境被害について考える。</p> <p>[言語活動] 「先進国は中古機器を発展途上国に輸出すべきである。」という論題で、ミニディベートを行う。</p>	7	<ul style="list-style-type: none"> 電気電子機器の廃棄物について関心を持ち、その処分の仕方改善する方法を理解しようとしている。 電気電子機器の廃棄物について、自分には何ができるのかを考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「先進国は中古機器を発展途上国に輸出すべきである。」という論題についての質問に、英語で答えることができる。 上の論題について、ミニディベートを行うことができる。 	電気電子機器の廃棄物について、読んだり聞いたりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 環境問題やリサイクルについて、その現状と問題点を理解している。 環境問題を引き起こす責任は消費者にもあるが、問題を改善させる力もあることを理解している。

2	11	Lesson 14 The Flight from Conversation	<p>[題材内容] インターネット通信の発達により、人々は仮想世界で多くの時間を過ごすようになった。その結果、面と向かっての会話や独りになって自分を見つめる時間が減少してしまった。そのような社会状況について考える。</p> <p>[言語活動] 「コミュニケーションは会話よりもむしろモバイル接続によって行われるべきである。」という論題で、ミニディベートを行う。</p>	7	<ul style="list-style-type: none"> インターネット通信と面と向かってする会話の違いに関心を持ち、会話の重要性について理解しようとしている。 独りで居ることの意味について考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「コミュニケーションは会話よりもむしろモバイル接続によって行われるべきである。」という論題についての質問に答えたり、50語ほどの意見を英語で書いたりすることができる。 上の論題でミニディベートを行うことができる。 	<p>インターネット通信と面と向かってする会話の違いや独りで居ることの意味について、聞いたり読んだりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 現代のインターネット通信の長所と短所を理解している。 会話をしたり、逆に独りで居ることの重要性について考えている。
2	12	Lesson 15 Bring New Light on Traditional Assumptions	<p>[題材内容] スタンフォード大学のスーリング教授の課題は「5ドルを資本金にして2時間でお金をいくら稼げるか。」というもの。この課題に挑む学生たちの独創的な発想と行動、その結果について考える。</p> <p>[言語活動] 「私の個人的な価値観」というトピックについて、意見を書いたりグループ内で話し合ったりして結論を出したりする。</p>	7	<p>独創的な発想を用いて難問を解決することに関心を持ち、そうすることの意味を理解しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「私の個人的な価値観」というトピックについての質問に英語で答えて、50語ほどの意見を書くことができる。 グループ内で、上のトピックについて話し合い、グループとしての結論を出すことができる。 	<p>独創的な発想を用いて難問を解決することについて、聞いたり読んだりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答えることができる。</p>	<p>独創的な発想を生み出すことの重要性と、難問を解決する機会があれば積極的に挑む必要があることを理解している。</p>

2	12	Lesson 16 TOKYO SKYTREE: A Gathering Place Up in the Heavens	<p>[題材内容] 自立式放送塔としては世界一の高さを誇る東京スカイツリーは、数々の創意に満ちた土木・工学技術と日本古来の伝統的なデザインとを融合させた建造物である。その構造の詳細と建設の理念について学ぶ。</p> <p>[言語活動] 「日本の科学技術」というトピックでプレゼンテーションを行う。</p>	7	デザインに日本の伝統文化を取り込み最新の建築技術を用いた建造物に対して関心を持ち、その建設の理念を理解しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> 外国人に高い評価を受ける日本製品か科学技術について、質問に答えながら調べたことをまとめ、論理性に注意しながらプレゼンテーションのアウトラインを書くことができる。 「日本の科学技術」というトピックでプレゼンテーションを行うことができる。 	東京スカイツリーの建設について、聞いたことや読んだりしたことを理解し、内容に関する質問に英語で答えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統文化が現代の科学技術にどのように応用されているかについて正しい知識を持ち、理解している。 プレゼンテーションの構成や効果的に使える表現について理解している。
---	----	---	--	---	--	--	---	--

計 105 時間 (50 分授業)

4 課題・提出物等

- ・ワークシートを使って学習する。
- ・各単元ごとにパフォーマンステストを行い、評価する。
- ・課題は別途指示する。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

(関心・意欲・態度)	(思考・判断・表現) (技能)		(知識・理解)
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	英語表現の能力	英語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えることができる。	英語を聞いたことや読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

以上の観点を踏まえ、

- ・定期考査、課題、朝テスト、パフォーマンステスト、授業への積極的な参加・取組などから、総合的に評価します。

6 担当者からの一言

- ・予習はせず授業で初めて英文を読み、読解問題を解いてほしい。
- ・復習をしてほしい。黙読、音読を繰り返して英文構造の意識的理解を無意識化するまで消化してほしい。
- ・Lesson 毎のテーマに沿った英作文を 100 語以上で書いてもらう予定です。

(担当：吉川)